

# いのちの現場から 市政に挑む！

コロナ禍でくらしと生業がたいへんです。  
今こそ自治体が市民のくらしといのちを守る  
責任を果たさなければなりません。

日本共産党 市会議員

## くらた共子です



### 議会報告

#### 中小企業支援の土台となる 京都市産業技術研究所の 役割発揮を

くらた市議は、「検査、試験、新商品の研究開発など大きな力となってくれた京都市産業技術研究所は中小企業にとって、なくてはならない」との市内事業者の声を紹介し、コロナ禍の市内事業者を支え発展させる公的機関の役割を果たすよう求めました。



12月3日委員会質問

#### みなさんと要望し 凸凹の歩道が 歩きやすくなりました

日本共産党が取り組んだアンケートに「上御霊神社南の歩道が歩きにくい」と声が寄せられていました。



12月1日現在



12月9日現在

#### 青年・学生に 寄りそって

民主青年同盟や地域のみなさんが食材提供支援に取り組まれています。学校トイレへの生理用品の設置など前進しました。給付制奨学金の実現にもがんばります。



食材提供プロジェクトに相談員として参加

#### 地下鉄駅の無人化やめて 乗客の安全を守れ

11月22日東西線の信号が故障する事態が発生しました。その際、下車する乗客の対応にあたった職員は1人のみであったと市民の声が寄せられました。くらた市議は「京都市行財政改革計画」で「駅務の無人化」をすすめることを指摘し、必要な職員体制を確保し乗客の安全を守るよう求めました。

